様式３(2015.06改)

作成日　平成　30　年　11　月　28

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100267
事業所名	グループホーム咲花　唐山

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、溝掃除や草刈り等の地域の清掃活動に参加している。近隣幼稚園児がハロウィン仮装して訪れたり、地域行事の子供神輿に参加する等地域交流を深めている。施設行事の祭りには、直接住民に声掛けをして参加が得られた。地域密着型施設との認知度も高まり、地域に根差している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	年6回開催される推進会議には、区職員、包括支援センター職員、地域住民、利用者、家族が参加し、運営状況を伝えている。隣接住民からの苦情について議題を挙げ話し合い、遮光カーテンの使用やレクや行事の調整を行う等の対策を打ち出し実施した、問題解決に取り組み、地域との協働関係を深めている。	○
重点項目③	s	
	区担当者とは、推進会議時や更新等の手続きの際に直接話をする機会があり、良好な協働関係を築いている。生活保護担当職員の来訪もある。社協主催の研修の参加や、グループホーム連絡会にも出席している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	推進会議への家族参加の促進、面会時や電話で話す機会を作り、要望や意見を引き出している。家族からは、「日頃の様子などを訪問の度に説明してくださるので不安に思う事はありません」との感謝の言葉が聴かれている。利用者や家族から出た意見や要望は、職員間で検討し、即座に改善する体制ができている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	